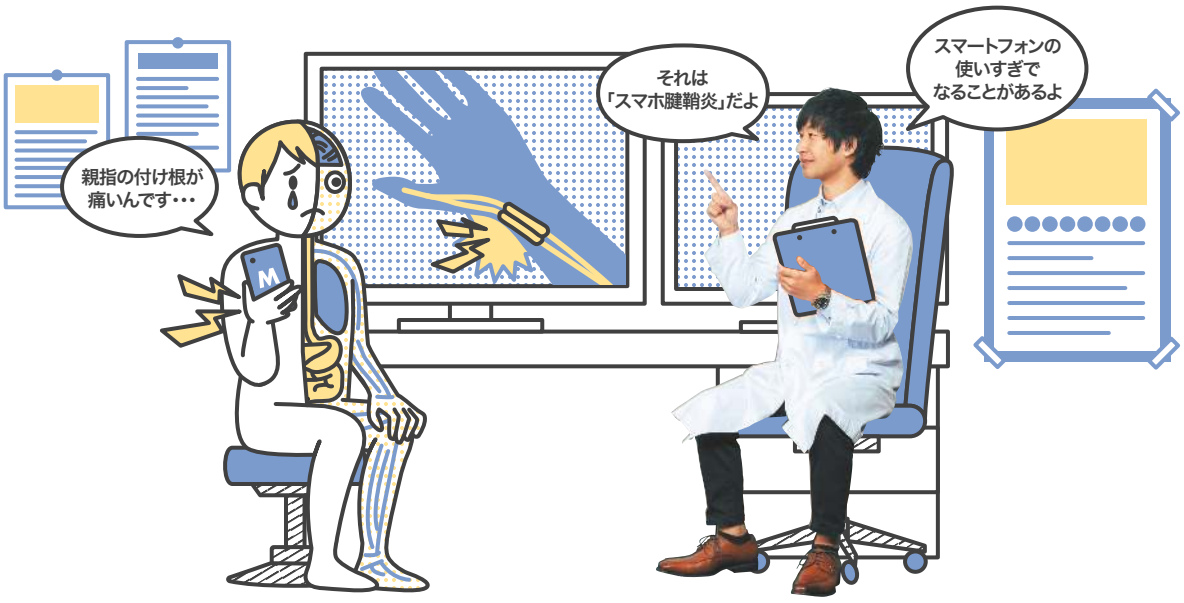
MEIJO
Q&A

理工学部 機械工学科

# Q スマホを使って指が痛くなりました。使い方に関係していますか？

## スマートフォンの過度な使用で「スマホ腱鞘炎」を発症している可能性があります。




### 「スマホ腱鞘炎」は新現代病として社会問題になっています。

スマートフォンを使う時に、複雑な指の運動を繰り返すことで手関節や指の腱鞘炎を発症するケースが増えています。こうした症例は「スマホ腱鞘炎」と呼ばれ、新現代病として社会問題になっています。腱鞘炎とは、手指や手首を繰り返し使うことで腱と腱鞘がこすれて炎症が起こった状態のこと。軽度な痛みなら安静にすることで次第に痛みが引きますが、手指や手首を使わずに生活することは難しいので炎症が治りにくいのが難点です。そのままにしておくと手指を動かすことも困難になるので、スマホゲームなど指を酷使する使い方は控えましょう。また「両手で持って両手で操作する」「スマホスタンドなどスマホグッズを使う」など手指や手首への負担を減らす工夫も有効です。

### 機械工学×医学。バイオメカニクス研究で疾患治癒に貢献。

私の研究では、機械工学分野と医学分野を融合した医工連携領域で、人体の骨や筋肉について、力学試験機を使った評価やコンピュータによるシミュレーション解析を行っています。そして、それらのデータを元に、骨折や脱臼、腱鞘炎などの疾患に対して有効な治療法を探索しています。私たちの体を動かしている筋肉は、神経や靭帯、腱、骨などさまざまな組織がお互いに連携しあっています。しかし、それらの力学的な特性や相互作用力など、人体の内部にはまだまだ未解明な力学現象が多く、それらの一端を解明し、治療に役立たせる技術の開発は、挑戦しがいのある研究領域です。こうしたバイオメカニクス研究によって、医学界への貢献を目指しています。

**横田 紘季 先生**
Yokota Hiroki


工学部の学生時代にバイオメカニクス研究に取り組み、卒業後さらなる追及のために医学部大学院へ進学し、解剖学を学びました。機械工学と医学の両分野を研究してきた経験から、医工連携研究の追及に尽力しています。

＼コロナ禍になって／
**始めたもの・ハマったもの**

### 海釣りを楽しみました。

ソーシャルディスタンスを保ったまま、ゆったりした時間を過ごせることから海釣りを楽しみました。釣った魚はスーパーなどの店頭で見かけない魚も多く、調理方法を工夫しながら食べることも楽しみのひとつです。まずは大きな魚を釣ることを目標にしています。